

今月の表紙

伊香保温泉も満喫できる宿 大江戸温泉物語 伊香保



伊香保の名湯、黄金の湯と白銀の湯が楽しめる地元でも数少ない施設です。黄金の湯は刺激の少ない柔らかなお湯で身体の芯から温まるので「子宝の湯」として親しまれ、冷え性など女性に嬉しい効能がたくさんあります。白銀の湯は無色透明で疲労回復や健康増進に良い湯です。贅沢に2種類のお湯が堪能できます。また古式サウナ「かまぶろ」では専用の浴衣に着替えて横になって10~15分、低温でじんわり身体の中から汗を出す和風サウナも楽しめます。もう一つお楽しみは館内ギャラリー「夢小路」、大正ロマンを代表する画家・詩人である竹久夢二のオリジナル美人画が館内に展示されています。その他、館内の至る所に群馬に所縁のあるアーティストの作品を展示。日本の貴重な近代芸術が楽しめます。

お食事は経験豊富な料理人達が地元群馬の食材を季節ごとにふんだんに使いアレンジしたバイキング。数々の料理を丹精込めてお届けします。厳選した日本酒もあわせてお楽しみください。

温泉宿の情緒あふれるお部屋から、モダンなイン

テリアを取り入れたお部屋まで、ご利用シーンに合わせた様々なお部屋をご用意。最適な宿泊プランも豊富に揃っています。日頃の疲れをゆっくり癒し、美味しいご飯を食べ、リラックスした時間を過ごしてみてください。



↑大浴場への廊下には夢二作品も展示



↑地元食材たっぷり創作バイキング

↑庭園風の露天風呂では、黄金の湯を



↑自然の景観を眺めながら過ごせる客室

伊香保温泉 効能レポート

湯浴振興協会理事 / 諸星敏博 談

名湯 太鼓判

『黄金の湯・白銀の湯は女性に嬉しい効能がたくさん』

伊香保の温泉は南北朝時代の書物にすでに温泉が湧き出ていると書かれているそうです。本当に古くから名湯として知られていて、湯の色が茶色い「黄金の湯」と、透明な「白銀の湯」が楽しめる温泉です。黄金の湯は硫酸塩泉で色に特徴があります。もともと無色透明ですが、含まれる鉄分が空気に触れると独特の茶褐色になるため、黄金の湯と呼ばれます。触れただけで漂う鉄の香りは効能を期待させます。刺激の少ないやわらかい湯で、身体を芯から温めて血行を促すので、皮膚乾燥症・冷え性など女性に嬉しい効能がたくさんあり「子宝の湯」としても喜ばれています。また、病気やケガの療養にいいということで、昔から湯治場として人気を博しています。身体が芯からポカポカと温まり汗がどっと出るのでダイエット効果も期待できます。

白銀の湯は近年になって湧出が確認された新しいお湯。色は無色透明でメタケイ酸を含む無臭の温泉です。疲労回復や健康増進に良い湯と言われています。二種類の湯の効能を満喫して、心身ともに癒されてみてはいかがでしょうか。



大江戸温泉物語 伊香保

所在地 渋川市伊香保町伊香保592-1
☎ 0570-011261
料 平日大人4名1室利用お一人様8,280円~(税別)
日帰り利用 あり
HP <https://ikaho.oedoonsen.jp>

温泉街風情を楽しめる

石段街を散策

伊香保温泉石段街とは

古くから人々に親しまれてきた伊香保温泉。第11代垂仁天皇の時代に発見、または草津同様に行基によって発見された説などあるそうです。ただ、南北朝時代の書物にはすでに温泉が湧出している記述があるそうですから、長い歴史があるのは確かでしょう。石段街が有名ですが、現在のみかげ石敷きの石段は、昭和55年から5年かけて改修されたもの。さらに平成10年に石段を新設し、1年365日、

温泉街が賑わいますようお願いを込めた365段になりました。

浴衣で散歩するだけでも、温泉風情を満喫できますが、石段の両側には、ズラリと並ぶお土産物屋さんがあり、買い物やグルメも楽しめます。また、ほかに楽しめるポイントがたくさんありますので、伊香保を訪れた際にはゆっくり散歩してみてください。



散策中にほっとひと息、足湯



足湯が複数あるのも、石段街の特徴。石段を登り疲れた時に、気軽に休憩できるのが嬉しいですね。また、昔使われていた石段を敷石に使った日帰り温泉の「石段の湯」もあります。

湯気な温泉蒸れた足湯。リフレッシュ石段の湯。昔の石段が敷石に利用

詩が刻まれた石段は、風情を感じるもの。旅情も盛り上がるのでは



石段に刻まれた詩

石段をよく見ると、文字が刻まれているところがあります。これは歌人や詩人としても有名な与謝野晶子の詩だそう。干支探しをしながら、どこにあるか探すのもおすすめです。

干支の印



石段を歩くと、干支の印を見つけることがあります。これは200年以上前、家紋のような意味合いの干支を持っていた、大家と呼ばれる12の温泉宿があった場所だそうです。

散歩しながらあなたの干支を探したり、全ての印を探してみるのもいいかも

小満口(こまぐち)



石段の途中にある窓のようなもの。これは温泉街で重要な役割をしている「小満口(こまぐち)」です。湯元から流れる温泉をここで分岐して、各所へ送るようになっているそうです。

石段街には全部で4つあるという小満口。温泉が流れる様が見れます

周辺には文化にふれるスポットが多数

伊香保周辺には文学館や美術館などが多数点在。徳富蘆花や竹久夢二の世界などに浸れるほか、伊香保切り絵なども鑑賞できます。また水澤寺や、異国情緒あふれる外観が印象的な法水寺なども。散歩しながら、文化にふれるスポットを巡ってみては。



佛光山法水寺

体験してみたい 温泉街の遊戯場



温泉街の遊びと言えば射的。伊香保でも昔は何十軒もの遊戯場があり、観光客に親しまれていたそうです。もちろん今でも遊戯場はあり、射的など楽しめます。ぜひ体験してみてください。



徳富蘆花記念文学館



竹久夢二伊香保記念館



伊香保周辺地図

伊香保みやげは やっぱり 温泉まんじゅう



日本の温泉場でよく見かける、温泉饅頭。伊香保温泉が発祥の地なのだそう。元祖の味を、おみやげにしてみたいでしょうか。特に伊香保の「湯の花まんじゅう」は、天皇家への献上品に選ばれたことがきっかけで、全国に知れ渡ったのだそう。つやつやとした茶色い皮のおいしいような饅頭を見れば、おみやげの前につつまみ食いしてしまいそうです。

いかがでしたか？ 石段街でゆっくり散歩を楽しんだ後は、黄金の湯と白銀の湯でリラックス。今年の秋は伊香保で、そんな温泉旅行をぜひ楽しんでみてください。

黄金と白銀 二種類ある 伊香保の湯



伊香保温泉には「黄金(こがね)の湯」と、「白銀(しろがね)の湯」の2種類があります。もともと湧出していたのは「黄金の湯」のみ。含まれる鉄分が酸化することで独特の茶褐色になることから、こう呼ばれたそうです。刺激が少なくやわらかい湯なので、身体を芯から温めて血行を促すこの湯は「子宝の湯」としても知られていたそうです。一方の白銀の湯は、近年になって湧出が確認されたもの。毎分110ℓと湯量も豊富で、色が無色透明だったことからこの名に。こちらは疲労回復や健康増進におすすめだそうです。昔から湯治場として親しまれてきた伊香保ですが、「大江戸温泉物語 伊香保」など現在では2種類の湯が同時に楽しめる嬉しい宿もありますので、宿選びの参考にしてみてください。



写真上にごり湯の硫酸塩泉「黄金の湯」。大江戸温泉物語伊香保では露天風呂で写真下:大江戸温泉物語伊香保の広々とした内湯ではメタケイ酸泉の「白銀の湯」を